

トランコムグループ 決算説明資料



2021年3月期 第2四半期

証券コード：9058

トランコム株式会社

2020.10.27

TRANCOM

Copyright(c)/2020 TRANCOM CO.,LTD.All Rights Reserved.

目 次

1	2021年3月期 決算ポイント	P.3
2	2021年3月期 第2四半期 業績	P.4
3	2021年3月期 通期見通し	P.12
4	財政状況及び投資・還元方針	P.16
5	「はこぶ」仕組みの創造に向けて	P.19

TRANCOM

Copyright(c)/2020 TRANCOM CO.,LTD.All Rights Reserved.

2021年3月期 第2四半期 業績

- ・ 物流情報サービス事業、インダストリアルサポート事業は厳しい市場環境の中での事業運営であった
 - （物流情報サービス事業） 貨物情報数が大幅に減少
 - （インダストリアルサポート事業） 自動車関連の生産工場の閉鎖や減産影響
- ・ コロナ禍の物量増減に対し運営効率化を進めたロジスティクスマネジメント事業は、大幅増益であった
- ・ 各事業で適正人員配置、業務効率の向上、経費削減に継続して取り組み、営業利益率を向上した（前期比 0.3ポイントUP）

2021年3月期 業績・配当予想

- ・ 物流情報サービス事業の貨物情報数は徐々に回復傾向にあるが、今期は影響が残ると想定
- ・ 年間配当予想額は、前事業年度に引き続き増配を計画 [詳細 P18](#)

長期ビジョン 「はこぶ」 仕組みの創造に向けて [詳細 P19以降](#)

- ・ トランコムグループのサービスをフルで活かして、国内の「はこぶ」効率化を強く推進

1	2021年3月期 決算ポイント	P.3
2	2021年3月期 第2四半期 業績	P.4
3	2021年3月期 通期見通し	P.12
4	財政状況及び投資・還元方針	P.16
5	「はこぶ」仕組みの創造に向けて	P.19

2021年3月期 第2四半期業績

前期比

- ・ 厳しい事業環境の中、第1四半期は減収減益であったが
第2四半期では各事業でコスト低減に取り組み、2Q累計では減益幅を抑制
- ・ 新型コロナ感染症拡大に伴う助成金計上（営業外収入）、法人税の減額により
当期純利益は、8.5%の増益

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期					
	第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比
売上高	39,240	40,977	80,217	35,932	-8.4%	36,712	-10.4%	72,645	-9.4%
営業利益	1,678	1,994	3,672	1,572	-6.3%	2,020	1.3%	3,592	-2.2%
(売上高比)	(4.3%)	(4.9%)	(4.6%)	(4.4%)	(+0.1P)	(5.5%)	(+0.6P)	(4.9%)	(+0.3P)
経常利益	1,671	1,958	3,630	1,538	-8.0%	2,127	8.7%	3,666	1.0%
(売上高比)	(4.3%)	(4.8%)	(4.5%)	(4.3%)	(+0.0P)	(5.8%)	(+1.0P)	(5.0%)	(+0.5P)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,041	1,321	2,362	904	-13.1%	1,657	25.5%	2,562	8.5%
(売上高比)	(2.7%)	(3.2%)	(2.9%)	(2.5%)	(-0.2P)	(4.5%)	(+1.3P)	(3.5%)	(+0.6P)

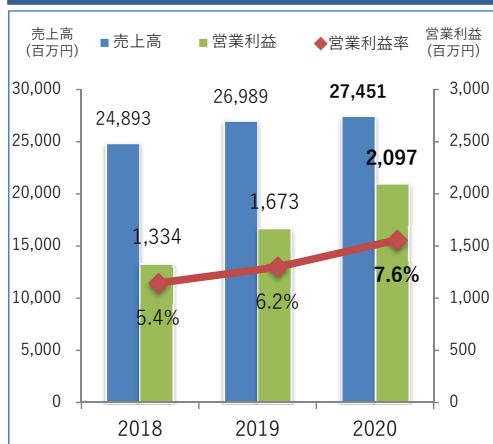
2021年3月期 第2四半期業績/セグメント別

(単位：百万円)

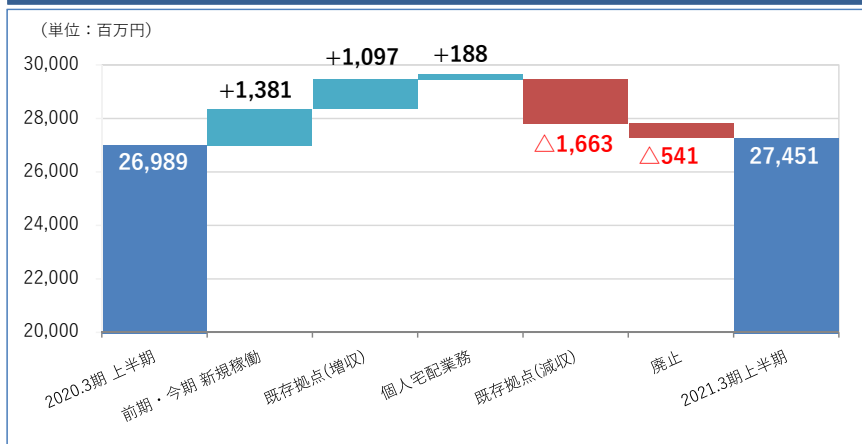
		2020年3月期			2021年3月期					
		第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	13,213	13,775	26,989	13,751	4.1%	13,700	-0.5%	27,451	1.7%
	営業利益	754	919	1,673	1,016	34.7%	1,080	17.6%	2,097	25.3%
	(売上高比)	(5.7%)	(6.7%)	(6.2%)	(7.4%)	(+1.7P)	(7.9%)	(+1.2P)	(7.6%)	(+1.4P)
物流情報 サービス事業	売上高	22,122	23,263	45,385	18,492	-16.4%	19,158	-17.6%	37,651	-17.0%
	営業利益	719	886	1,606	539	-25.1%	782	-11.7%	1,322	-17.7%
	(売上高比)	(3.3%)	(3.8%)	(3.5%)	(2.9%)	(-0.4P)	(4.1%)	(+0.3P)	(3.5%)	(+0.0P)
インダストリアル サポート事業	売上高	1,843	1,891	3,735	1,494	-18.9%	1,367	-27.7%	2,862	-23.4%
	営業利益	78	100	178	24	-68.8%	22	-77.5%	47	-73.7%
	(売上高比)	(4.3%)	(5.3%)	(4.8%)	(1.6%)	(-2.7P)	(1.6%)	(-3.7P)	(1.6%)	(-3.2P)
その他	売上高	2,433	2,426	4,859	2,656	9.2%	2,866	18.2%	5,523	13.7%
	営業利益	144	117	262	23	-83.8%	168	43.5%	192	-26.7%
	(売上高比)	(5.9%)	(4.8%)	(5.4%)	(0.9%)	(-5.0P)	(5.9%)	(+1.1P)	(3.5%)	(-1.9P)
連結消去	売上高	-372	-379	-751	-462	-	-379	-	-842	-
	営業利益	-19	-29	-48	-32	-	-34	-	-66	-
	(売上高比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連結合計	売上高	39,240	40,977	80,217	35,932	-8.4%	36,712	-10.4%	72,645	-9.4%
	営業利益	1,678	1,994	3,672	1,572	-6.3%	2,020	1.3%	3,592	-2.2%
	(売上高比)	(4.3%)	(4.9%)	(4.6%)	(4.4%)	(+0.1P)	(5.5%)	(+0.6P)	(4.9%)	(+0.3P)

2021年3月期 第2四半期業績/セグメント別 ロジスティクスマネジメント事業

売上高・営業利益・営業利益率



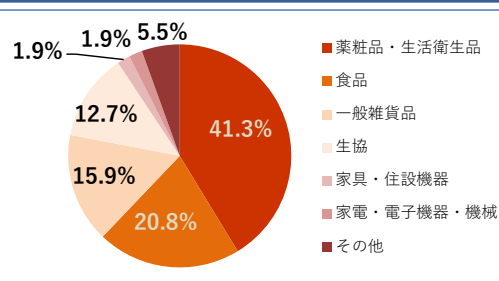
売上高増減



〈主な増減要因〉

- ・ 前年及び今期稼働拠点の寄与
- ・ 今期新規立上げ拠点の早期安定稼働
- ・ 個人宅配ニーズの高まりによる物量増
- ・ 運営効率化による利益率向上

取扱品目構成 (2021年3月期 2Q売上)



2021年3月期 第2四半期業績/セグメント別 ロジスティクスマネジメント事業

新規業務獲得・稼働状況

- 生活衛生品・日用品カテゴリの複合センター稼働 (埼玉) (2020年4月)
- 薬粧品メーカーの自社センター稼働 (富山) (2020年4月)
- 配送の中心拠点となる物流センターの開設 (愛知) (2020年11月稼働予定)

圧倒的な物流センター運営力の実現

- 物流センター省人化に向けて、ケースピッキング業務の自動化準備 (第4四半期稼働予定)
- エリアごとの事業会社化による安全・安心・品質の徹底、働き甲斐のある環境整備
 - ・ 人事制度改定 (専門職新設によるキャリア形成の実現)
 - ・ 法令遵守 (同一労働同一賃金) への対応
 - ・ 整理整頓された物流センターづくり
業務効率を上げるユニフォームにリニューアル



▲TRANCOMユニフォーム

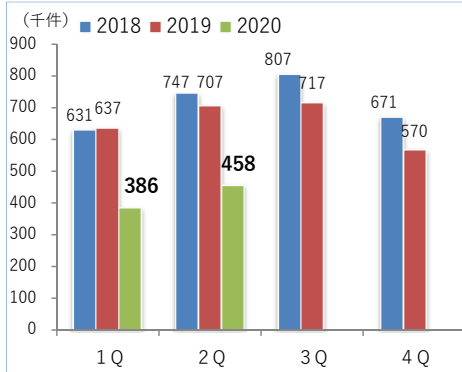


▲TRANCOM DS (個人宅配) ユニフォーム

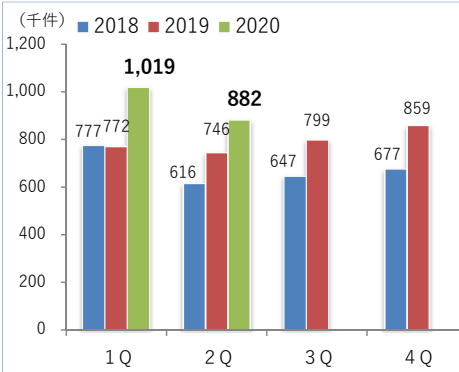
2021年3月期 第2四半期業績/セグメント別

物流情報サービス事業

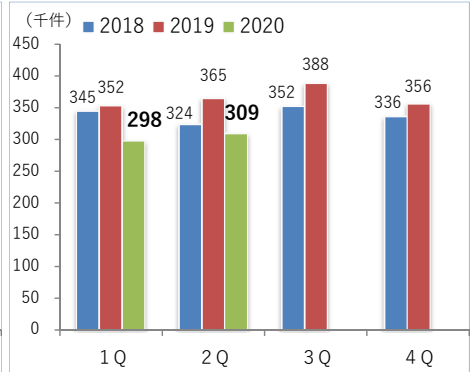
貨物情報数



空車情報数



成約件数



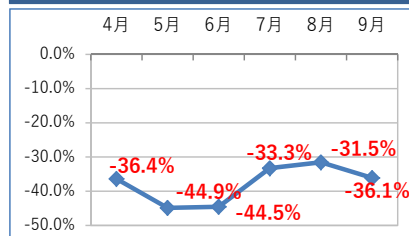
市場環境に左右されない事業基盤の構築

■ スポット貨物から定期貨物確保に向け製造業への営業強化

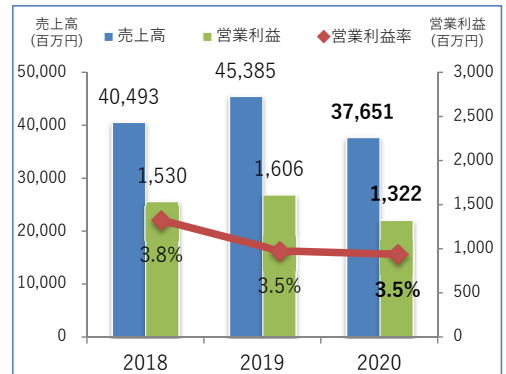
■ 強固な組織体制の構築

- ・ 適正な人員配置
- ・ 業務効率の向上
- ・ 経費削減

月別貨物情報数の増減率（前期比）



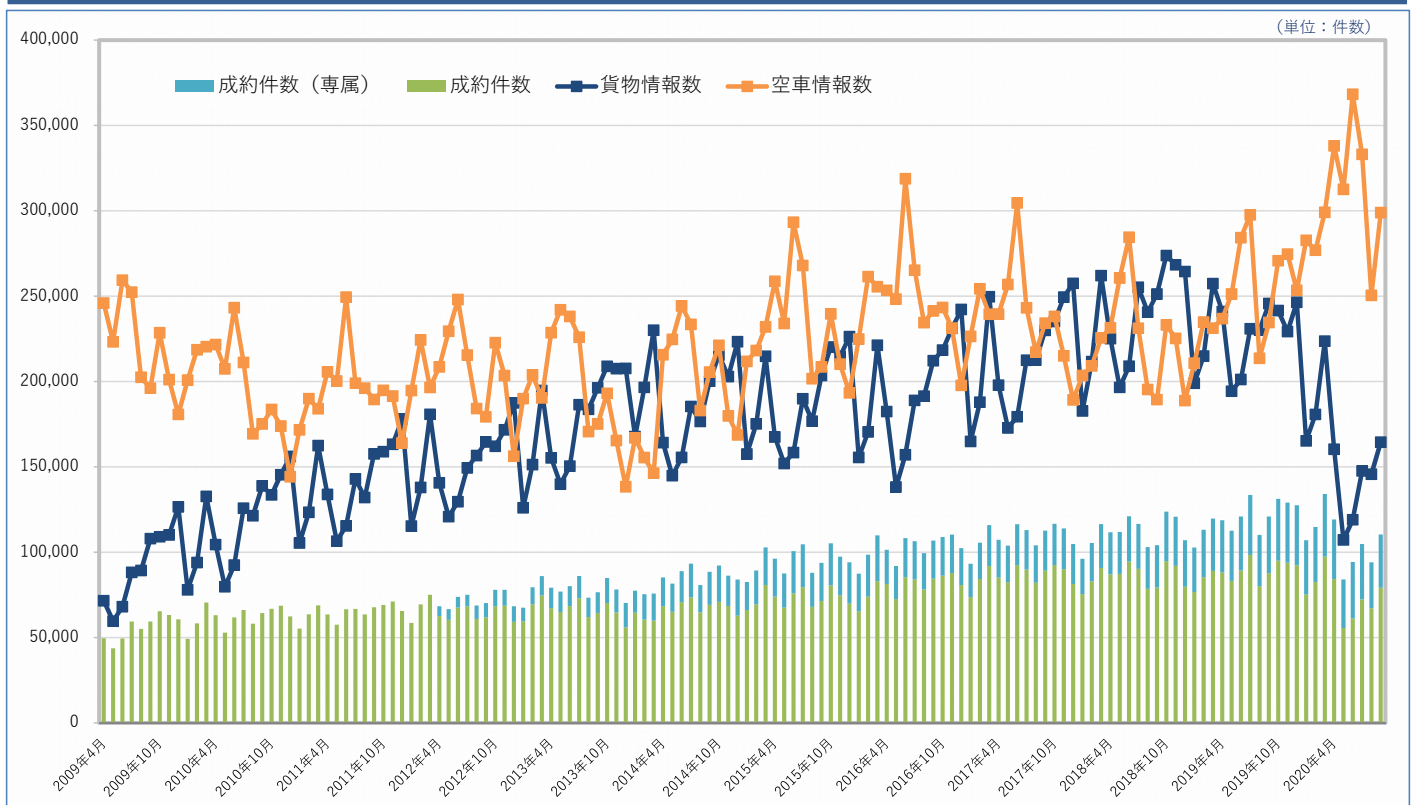
売上高・営業利益・営業利益率



2021年3月期 第2四半期業績/セグメント別

物流情報サービス事業 情報数推移

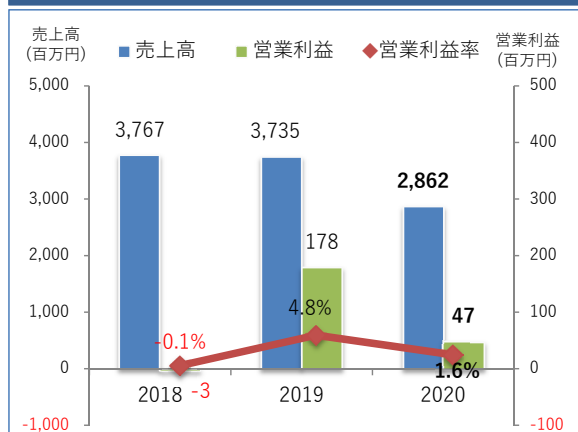
情報数の推移（2009年4月～2020年9月）



2021年3月期 第2四半期業績/セグメント別

インダストリアルサポート事業・その他

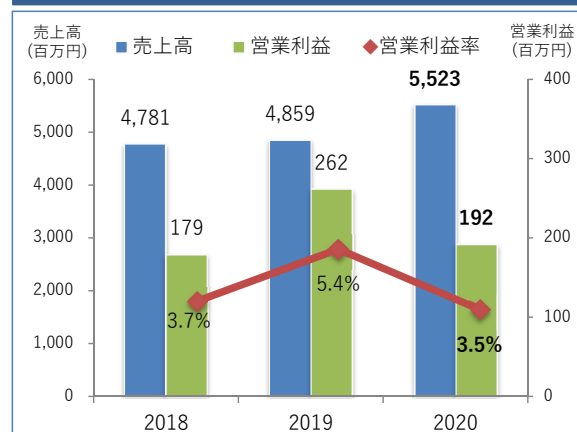
インダストリアルサポート事業 売上高・営業利益・営業利益率



〈主な増減要因〉

- ・ 顧客の工場閉鎖・生産減
- ・ 適正人員の配置見直し

その他 売上高・営業利益・営業利益率



〈主な増減要因〉

- ・ Sergeant Services Pte Ltd 連結化
- ・ 第2四半期以降、中国での物流業務生産回復
- ・ 国内システム部門 新技術習得費用の計上

■ 為替 中国 (15.69円→15.23円/元)
タイ (3.50円→ 3.49円/タイバーツ)

1	2021年3月期 決算ポイント	P.3
2	2021年3月期 第2四半期 業績	P.4
3	2021年3月期 通期見通し	P.12
4	財政状況及び投資・還元方針	P.16
5	「はこぶ」仕組みの創造に向けて	P.19

2021年3月期 通期予想の前提

2021年3月期 通期業績予想策定にあたり

- ・新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しや市場環境の不透明感は続く想定
- ・物流情報サービス事業は、少なくとも年度内は厳しい状況が継続することを前提に策定
市場環境に左右されない収益構造を追求
- ・全社でのコストコントロールを継続して実施
- ・積み上げてきた強い財務基盤を活用して「はこぶ」仕組みの創造に向けた積極投資を進める

セグメント別事業環境認識

ロジスティクス マネジメント事業	・消費財の物量は横ばいを見込む。 ・コロナ影響を受けた消費財以外の物量は引き続き減少を見込む。
物流情報 サービス事業	・国内輸送量減少の影響は続くが、貨物情報数は4Q以降緩やかな回復を見込む。 ・運賃単価は、前年より低下を見込むが、徐々に前年同等となると想定。
インダストリアル サポート事業	・国内製造業の先行き不透明により、人材派遣サービスは前年水準まで戻らず。
その他 (海外・国内)	・中国は国内市場が回復基調。 ・国内システム部門は開発ニーズの低迷により需要低調を見込む。

2021年3月期 通期見通し

前期比

- ・厳しい事業環境の継続を前提に、上半期の取り組みを継続し
通期では、減収ながらも増益を計画

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期 (予想)					
	上半期	下半期	通期	上半期 (実績)	前期比	下半期 (予想)	前期比	通期	前期比
売上高	80,217	83,245	163,463	72,645	-9.4%	76,350	-8.3%	149,000	-8.8%
営業利益	3,672	3,893	7,566	3,592	-2.2%	4,050	4.0%	7,640	1.0%
(売上高比)	(4.6%)	(4.7%)	(4.6%)	(4.9%)	(+0.3P)	(5.3%)	(+0.6P)	(5.1%)	(+0.5P)
経常利益	3,630	3,787	7,417	3,666	1.0%	4,110	8.5%	7,770	4.7%
(売上高比)	(4.5%)	(4.5%)	(4.5%)	(5.0%)	(+0.5P)	(5.4%)	(+0.9P)	(5.2%)	(+0.7P)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,362	2,546	4,909	2,562	8.5%	2,710	6.4%	5,270	7.3%
(売上高比)	(2.9%)	(3.1%)	(3.0%)	(3.5%)	(+0.6P)	(3.5%)	(+0.4P)	(3.5%)	(+0.5P)

2021年3月期 通期見通し セグメント別

(単位：百万円)

		2020年3月期			2021年3月期 (予想)					
		上半期	下半期	通期	上半期 (実績)	前期比	下半期 (予想)	前期比	通期	前期比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	26,989	28,035	55,024	27,451	1.7%	27,300	-2.6%	54,750	-0.5%
	営業利益	1,673	1,968	3,642	2,097	25.3%	2,310	17.4%	4,410	21.1%
	(売上高比)	(6.2%)	(7.0%)	(6.6%)	(7.6%)	(+1.4P)	(8.5%)	(+1.5P)	(8.1%)	(+1.5P)
物流情報 サービス事業	売上高	45,385	47,033	92,418	37,651	-17.0%	41,320	-12.1%	78,970	-14.6%
	営業利益	1,606	1,665	3,272	1,322	-17.7%	1,620	-2.7%	2,940	-10.2%
	(売上高比)	(3.5%)	(3.5%)	(3.5%)	(3.5%)	(+0.0P)	(3.9%)	(+0.4P)	(3.7%)	(+0.2P)
インダストリアル サポート事業	売上高	3,735	3,567	7,302	2,862	-23.4%	2,680	-24.9%	5,550	-24.0%
	営業利益	178	52	231	47	-73.7%	30	-42.7%	80	-65.4%
	(売上高比)	(4.8%)	(1.5%)	(3.2%)	(1.6%)	(-3.2P)	(1.1%)	(-0.4P)	(1.4%)	(-1.8P)
その他	売上高	4,859	5,462	10,321	5,523	13.7%	5,750	5.3%	11,270	9.2%
	営業利益	262	299	561	192	-26.7%	150	-49.8%	340	-39.4%
	(売上高比)	(5.4%)	(5.5%)	(5.4%)	(3.5%)	(-1.9P)	(2.6%)	(-2.9P)	(3.0%)	(-2.4P)
連結消去	売上高	-751	-853	-1,605	-842	-	-700	-	-1,540	-
	営業利益	-48	-91	-140	-66	-	-60	-	-130	-
	(売上高比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連結合計	売上高	80,217	83,245	163,463	72,645	-9.4%	76,350	-8.3%	149,000	-8.8%
	営業利益	3,672	3,893	7,566	3,592	-2.2%	4,050	4.0%	7,640	1.0%
	(売上高比)	(4.6%)	(4.7%)	(4.6%)	(4.9%)	(+0.3P)	(5.3%)	(+0.6P)	(5.1%)	(+0.5P)

1	2021年3月期 決算ポイント	P.3
2	2021年3月期 第2四半期 業績	P.4
3	2021年3月期 通期見通し	P.12
4	財政状況及び投資・還元方針	P.16
5	「はこぶ」仕組みの創造に向けて	P.19

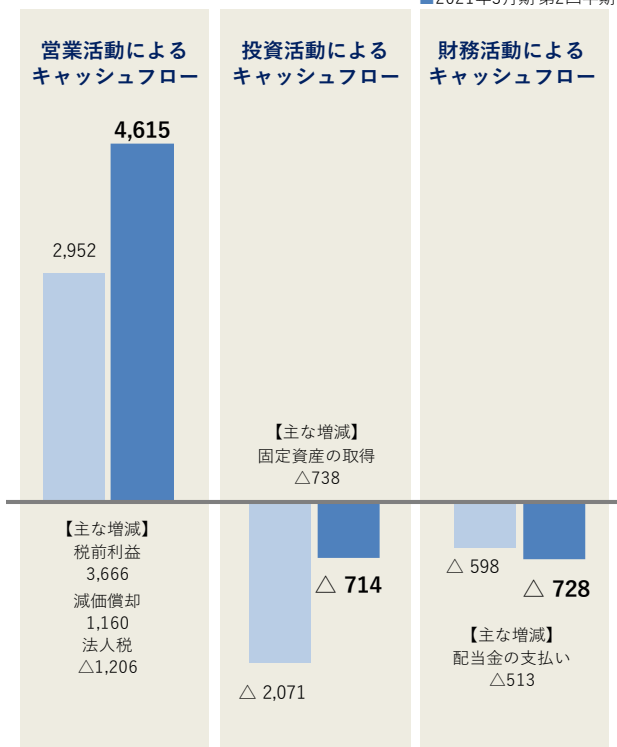
2021年3月期 第2四半期

キャッシュフロー及び財政状況

連結キャッシュフロー計算書

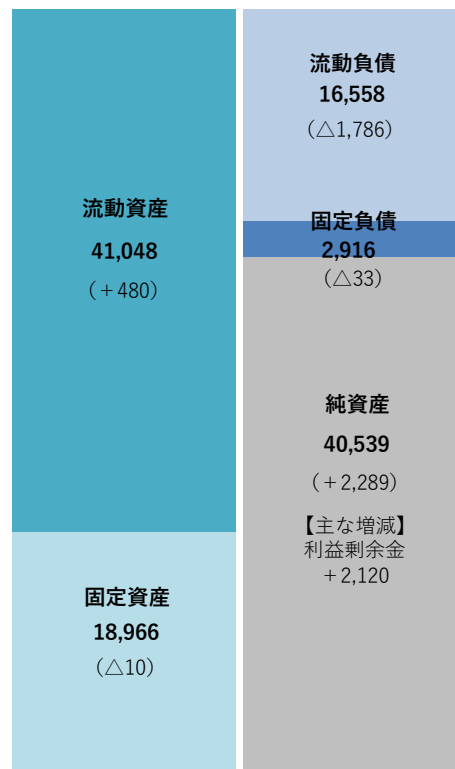
(単位：百万円)

■ 2020年3月期 第2四半期
■ 2021年3月期 第2四半期



連結貸借対照表

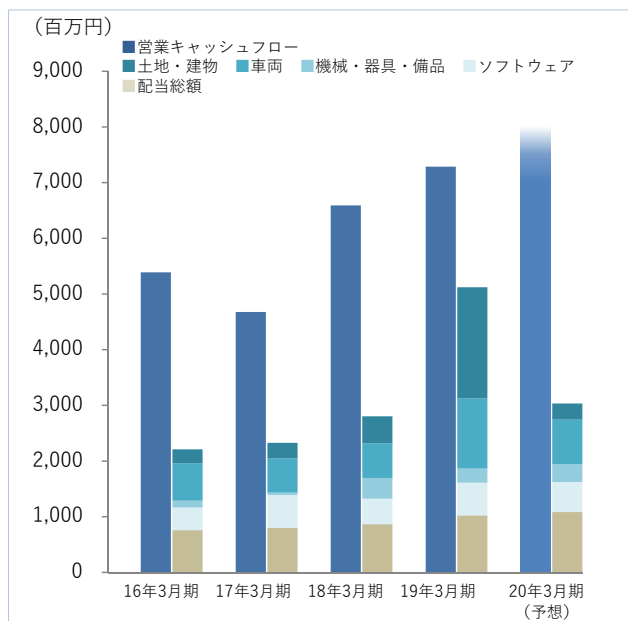
(単位：百万円)



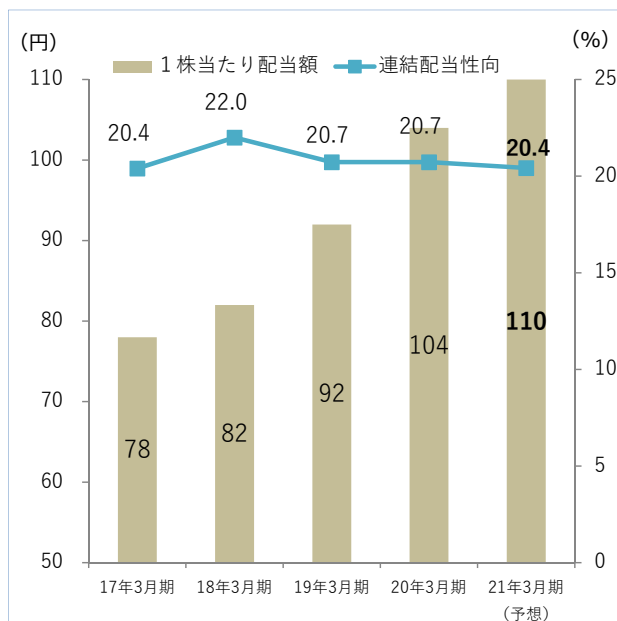
2021年3月期

投資・還元方針

営業キャッシュフロー及び設備投資・配当総額



1株あたり配当金の推移



- センター業務自動化への投資
- 物流情報サービスへのシステム投資
- 「はこぶ」を極めるうえでの自社便の投入

- 20期連続の増配を計画

1	2021年3月期 決算ポイント	P.3
2	2021年3月期 第2四半期 業績	P.4
3	2021年3月期 通期見通し	P.12
4	財政状況及び投資・還元方針	P.16
5	「はこぶ」仕組みの創造に向けて	P.19

TRANCOM VISION これからの事業の方向性

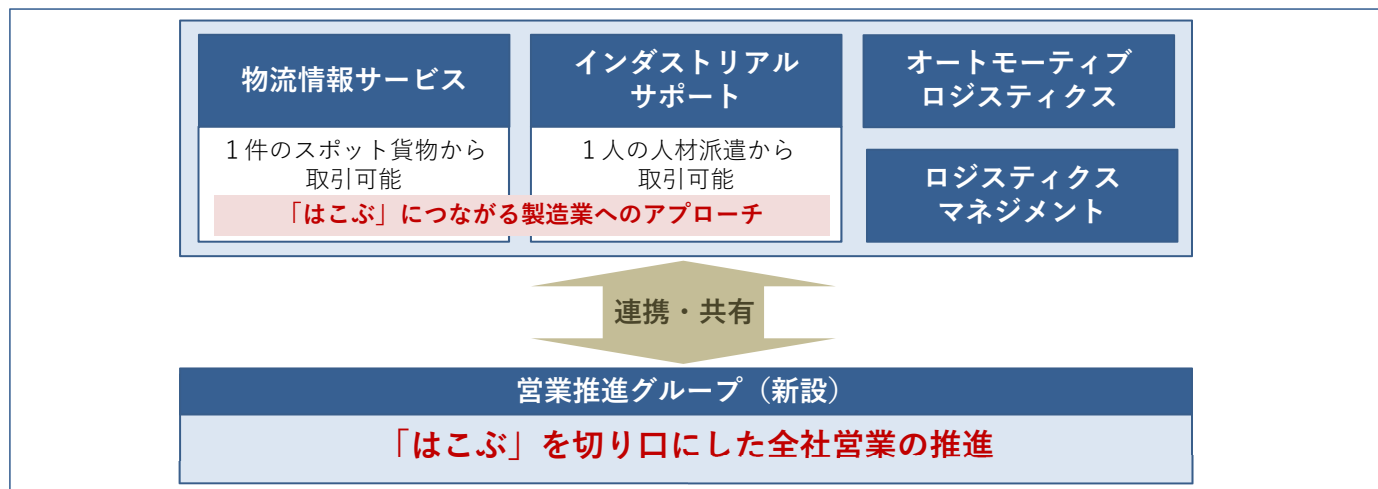
「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

長期 ビジョン	トランコムならではの高度な「はこぶ」仕組みを創造 = 広く多くの荷主・物流会社を利用される プラットフォームを構築
中期 ビジョン	「はこびかた」「はこぶもの」を充実し 「はこぶ」ことの最適化を追求したサービスを構築
中期の 主要方針	限りある輸配送力を最大限活かした 「はこびかた」を創出 × 業界を超えた 多様な「はこぶもの」を創出

TRANCOM VISION これからの事業の方向性

「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

■ 各事業との連携を一層強化し、強い営業体質を作りスピード感をもって推進



「はこぶ」対応力の強化



「はこぶ」領域の拡充

STEP.1

国内の「はこぶ」量を増大させること

STEP.2

データ化し最適なかたちにコーディネート

TRANCOM VISION これからの事業の方向性

「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

各事業の対応領域と今後の展開

STEP.1

国内の「はこぶ」量の増大

← 領域 →

薬粧品 生活衛生品 食品 一般雑貨 自動車 工業製品

物流情報サービス

- 安定的な貨物の獲得
- 多様な輸送モード「はこびかた」への対応

詳細1

オートモーティブ
ロジスティクス

- 自動車の作り方の
変化への対応

ロジスティクス
マネジメント

- 「はこぶ」につながる3PL業務の獲得
- 新たな業界・領域への挑戦

インダストリアル
サポート

- 他業界への業容拡大

Re_solnet

- 物流機器の回収（循環）スキーム構築

詳細2

STEP.2

データ化のために

- DX・デジタル化の推進

詳細3

- 物流センター業務の自動化推進

詳細4

TRANCOM VISION これからの事業の方向性

「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み（事例）

詳細1 多様な輸送モード「はこびかた」と「はこぶもの」

中継輸送

- スイッチ方式（ヘッドを変える）
積替え方式（別の車両へ積み替え）



「はこびかた」
を変える



ドレージ輸送

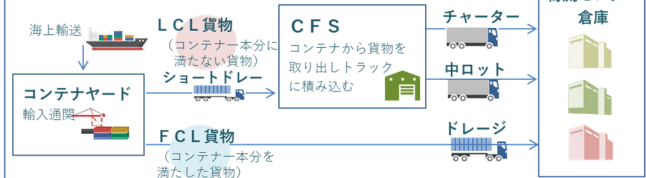
- 国際・港湾貨物の取り扱い拡充

「はこぶモード」
を拡充

- ・ 川崎港で自社便稼働
- ・ 大阪、東京に次ぎ、名古屋港でのドレージ業務開始（2020年11月）

「はこぶもの」
を増やす

▼ 海上輸送フロー



混載輸送

- 中ロット貨物の混載輸送強化
- 日本GLP社の施設をクロスドックセンターとして活用した混載輸送

「はこぶもの」
を増やす

「はこびかた」
を変える

共同輸送

- 日野グループとの協業によるダブル連結トラックを用いた共同輸送
- 既存顧客の業界を超えた共同輸送

「はこびかた」
を変える

TRANCOM VISION これからの事業の方向性

「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

詳細2 求貨求車サービスのネットワークを活かしたランコム独自の回収物流

物流センター等に滞留するパレットを効率よく回収、パレット循環の仕組み構築を実現

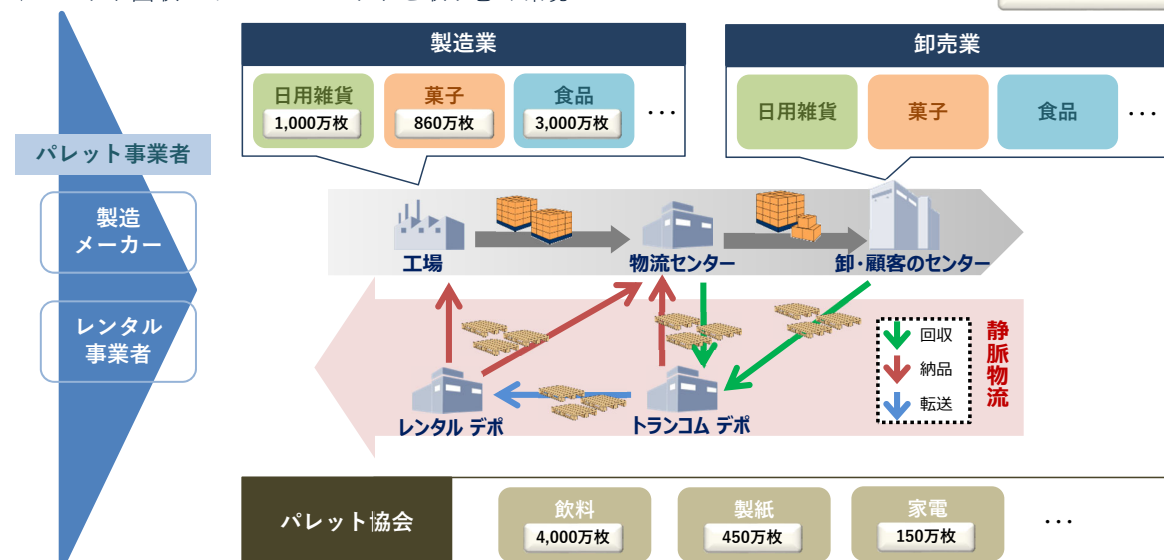
● パレットの取扱量の拡充

● パレット管理システム構築

▼ パレット回収スキームとパレットを取り巻く環境

想定流通枚数（年間）

※当社調べ



TRANCOM VISION これからの事業の方向性

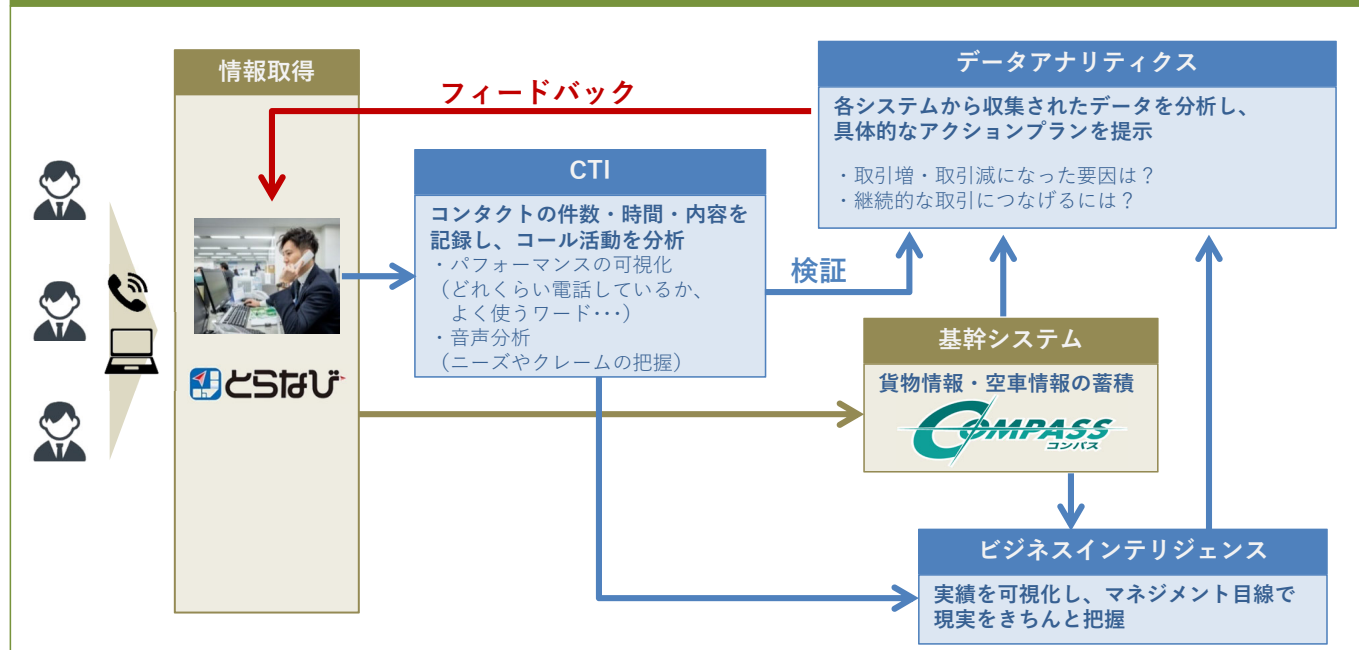
「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

詳細3

DX・デジタル化の推進

■ 物流情報が取得した情報 = ビッグデータの活用

データの活用イメージ



TRANCOM VISION これからの事業の方向性

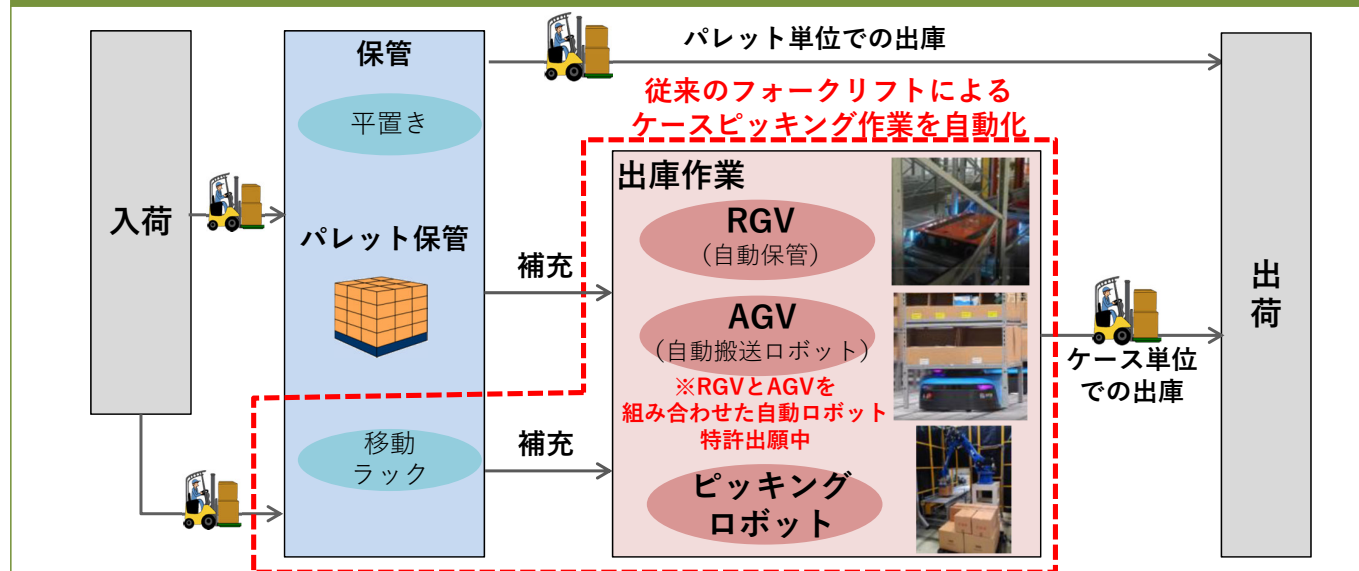
「はこぶ」仕組みの創造に向けた取り組み

詳細4

物流センター（ケースピック業務）の自動化 導入

■ 資本業務提携を締結したChinoh.Ai株式会社と共同で
ケースピック業務の自動化を推進・ノウハウの蓄積

「無人化」ではなく「省人化」で作業工数削減



自社機能・サービスの強化

はこぶ「量」を増やして
対応力・領域を拡充

パートナーとの連携強化

自社単独では実現できない
領域・機能を
パートナーと連携

トランコムならではの高度な「はこぶ」仕組みを創造

= 広く多くの荷主・物流会社に利用される
プラットフォームを構築

本資料及びIR関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

トランコム株式会社
YOUR LOGISTICS COLLABORATOR

MAIL : ir_info@trancom.co.jp
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015
www.trancom.co.jp



経営企画グループ

TEL : 052-939-2023 FAX : 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。